



日本ホーリネス教団
神奈川教区

秦野開拓教会

2010年4月18日

Vol.7 No.1

開拓だより from はだの

内側も整えられてきました

秦野教会主任牧師 中道善次

「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。

しかし成長させて下さるのは神である。」

(1コリント書 3章6節)



秦野教会の為にいつもお祈り下さり、尊いご支援を賜り、感謝いたします。

秦野教会の歩みを簡単に紹介します。2002年11月山茂ビルにて祈禱会を開始(茅ヶ崎教会と萩園教会の有志による)。2003年4月礼拝を開始(神奈川教区開拓として)。2004年7~8月、夏期ミッション生として櫻井修養生が奉仕。2005年4月ECC開拓教会となり、櫻井インターン生が派遣される。2006年4月櫻井牧師着任。2008年11月現在地(秦野市河原町)に移転。2009年2月14日献堂式。2009年4月午前礼拝に移行。2010年4月11日(日)礼拝式では、新会堂で初めての洗礼式を執り行いました。また午後から、初めての教会総会を行いました。

会堂が与えられはしたものの、秦野は被支援教会でした。2009年度、秦野教会の経済的自立を第一のビジョンとして掲げてきました。しかしながら午前礼拝に移行したことで、茅ヶ崎や萩園からの応援がなくなり、前年度の前期は、礼拝出席者6名という日もありました。

しかし「成長させてくださるのは」神様です。会堂が移転してから徐々にですが、受洗志願者、転入会希望者、信仰復帰された方々、求道者と、不思議に人々が導かれてきました。今年に入り、転入会式(6名)と洗礼式(角田兄)を行いました。今も転入会の手続き中の方がおられます。洗礼式と教会総会が持たれた4月11日の主日礼拝には、19名が集いました。みな秦野教会を愛し、主の教会を建て上げるために力を惜しまない方々ばかりです。

献堂式から1年以上が経過しました。外側の会堂だけでなく、内側も整えられてきました。2010年2月の神奈川教区臨時総会において、秦野教会は、教区開拓の位置づけからの独立を認めいただきました。神奈川教区をはじめ全国の皆様のお祈りとご支援により、ここまで来る事ができました。本当に感謝いたします。

これからも秦野教会の前進のため、引き続きお祈り下さいますようお願いいたします。

受洗のよろこび！

2010年4月12日 角田 均

私はこの4月7日に71歳の誕生日を迎え、そしてその4日後に洗礼を受けることができました。顧みれば、高校時代にYMCAの英語学校でギデオン協会から教材として贈られた英訳聖書を学びましたが、その当時はあくまでも教材としての認識しかありません。私とキリスト教との出会いは大学での学内礼



拝でした、そして友人と神戸の教会へ行くようになりました。そこでも、神を求めると言うより宗教的な雰囲気は憧れて行ったのだと思います。自宅から神戸までは遠く、次第に教会から離れていきます。社会人になり、結婚して子供も出来和やかな生活を送っているうちに、其の平凡な生活に飽き足らず自分で事業を興し、仕事に没頭しましたが、其の反面忙しければ忙しいほど、仕事のあい間に享樂的な道へと進み家族を困らせることになりました。そしてオイルショックにより事業が傾き、建て直しに奔走した毎日でしたが享樂的な生活は改まらず、家族に多大な苦しみ、悲しみを与え遂には家庭崩壊に至りました。先日ルデア会で“自由人にふさわしく行動しなさい。ただし、自由をば悪を行う口実として用いず、神の僕にふさわしく行動しなさい。”(ペテロの第一の手紙2章16節)を学びました。其の当時の私はこの戒めに正に逆らって、仕事の忙しさを口実に享樂という悪の道を走っていたのです。

会社を整理したことにより今迄が嘘のように空白な日が続き、自分を振り返る時間が十二分にある中、今迄の生き様に対する悔悟と自責の念が堰を切ったように心に襲いかかり、罪深い日々を送ってきた自分が情けなくなり幾度となく涙を流しました。そしてこのままでは自分は駄目になることを悟り、裸になり汗を流して真っ黒になって働き、一から出直す決心ができたのです。住んでいた近くにプレス工場があり丁度社員の募集を見て面接に出向きました。本当にこの職でよろしいのですか、総務とか営業の部門は如何ですかと気を使っての人事課長の申し出がありましたが、製造現場の仕事をしたい旨を理解して頂き、就職することが出来ました。冷房設備もなく、鍛造機械でガス窯を使うため、また真夏であったために工場の中は40℃を超えるサウナ状態で、じっとしているだけで汗が滴り落ち全身汗まみれになります。このような工場での仕事を私は望んでいたのです。恥ずかしさやプライド一切を捨て、黒鉛で顔中真っ黒になって、汗をたらし週5日50時間の重労働を5年間勤めました。この5年間は自分の身体を痛めつけて贖罪を得ようがむしゃらに働いた期間です。しかしこのようなことは自己満足に過ぎないことだと次第に気づき、悩みが心から消え去ることはありません。まだ神様を知らない私は、教会に出向き全てを告白し、赦しを乞い、神様の前で悔い改められる機会を逃していたのです。しかし今日ここに至り、其の時既に私が洗礼を受ける日と場所を神様がご計画なさっていたと私は強く確信するのです。

70歳の歳が近づき秦野市に終の棲家を求めました。秦野に転居し8ヶ月が過ぎた頃、姉から同

じ教会に所属されている方の弟さんが秦野で牧師をしておられるから訪ねて欲しいという電話がありました。姉は30年を超える熱心な信者でキリスト教入門の本等を送ってくれたりして、私の入信を以前より強く勧めてくれていました。教会の住所を聞くと自宅の近くで、教会に出向き桜井牧師にお会いしました。この時が桜井牧師との運命的な出会いです。私は幼少時父母の故郷である琵琶湖の北岸の寒村に疎開をしていました。驚いたことに、この時期桜井先生も近くに住んでおられたのです。高校時代も同じエリアにあり、社会人の時も同じ町内に住んでいたことが分かりました。其の時代時代に、其の各々の場所で私は桜井先生と何回出会っていたとしても不思議ではありません。それが秦野教会にてようやくでお会いできたことを今考えると神様の摂理を深く覚えます。

このようにして私は秦野教会に通い始め、礼拝をはじめ聖書を学ぶ会にも出席するようになりました。昨年3月29日の礼拝で前神奈川教区長上中牧師が説教をなさいました。上中牧師のメッセージの聲が私の頭に増幅され大きな響きとなって聞こえ、同時に昨夜読んだイザヤ書の“恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手もって、あなたをささえる。”(41章10節)この御ことばが突然頭によぎり、神様が上中牧師を通して私に語りかけておられることを涙ながらに実感したのです。そしてこのような罪深い私でも神様は支え、お救い下さることを確信出来たのです。宇宙を創造される大きな力と共に野に咲く小さな花の一輪さえにも、気を配られるような愛を持たれる神様のご臨在を覚え、感謝し、神様の僕として私は信仰の道を進む自信がつかしました。受洗に至までの先生方、教会員の方々の温かいご支援を感謝し、御礼申します。

【編集後記】

新しい会堂を与えられた時やこれまでの秦野教会の歩みを思う時、それは、「神様の不思議なお導きとお恵み」としか言いようがないと強調してきました。そうとしか思えなかったからです。巻頭にあるような恵みの足跡を、振り返りつつ、今、神様の不思議と恵みは、多くの皆様の背後にある篤い祈りによるものであると気づかされています。それがなければ、今の秦野教会はありえなかったでしょう。上中先生は、開拓の初めから自立までの期間、ちょうど神奈川教区長として支えて下さいました。神奈川教区はじめ全国の先生方と兄弟方にも、どれほどのご支援をいただいたか、お礼の言葉もありません。この場をかりて、心からのお礼を、教会員一同と共に申し上げます。ありがとうございました。

なお、よちよち歩きのわたしたちを、これまで同様よろしくご指導ご支援下さいますようお願い致します。(櫻井指)

集会案内

主日礼拝：日曜日 午前10時半
教会学校： ” 9時
ルデヤ会：水曜日 午前10時
祈禱会：木曜日 午後7時
入門クラス：第2火曜日午前10時

〒257-0032 神奈川県秦野市河原町2-56

電話・FAX 0463-82-6490

<http://hadano.org/>

e-mail: jhc-hadano@tbp.t-com.ne.jp